

家畜衛生情報誌

『 一 支 国 』

2015. 夏号



～石田町筒城西触付近 西福寺のあじさい～

壱岐振興局農林水産部 壱岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県壱岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

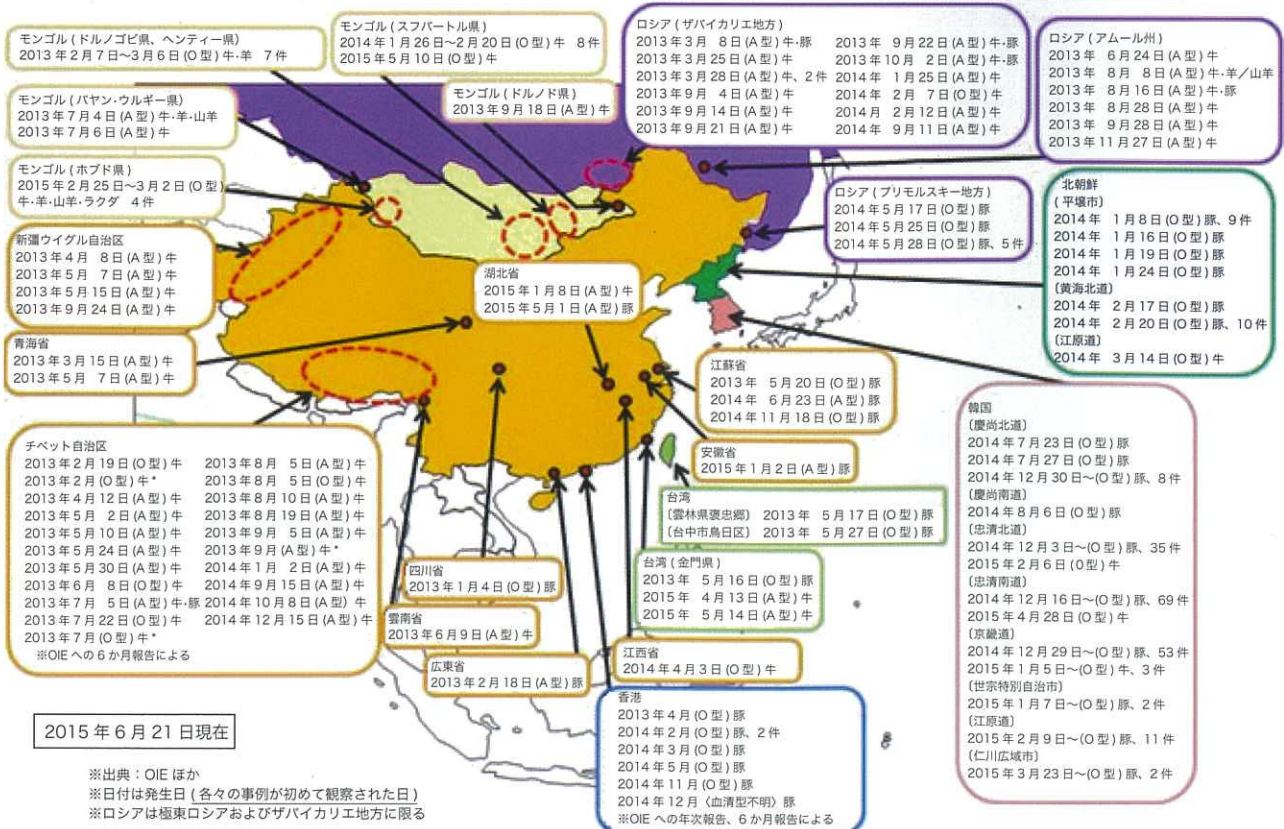
海外における口蹄疫および鳥インフルエンザ発生状況

東アジアを中心に、世界では依然として口蹄疫や鳥インフルエンザの発生が相次いでいます。口蹄疫については、韓国、台湾において継続的な発生が確認されています。鳥インフルエンザについても、夏になりますが韓国、中国、台湾などでは現在も発生が確認されていますので、引き続き警戒が必要な状況となっています。農場へのウイルス侵入防止のため、飼養衛生管理の徹底強化をお願いします。

牛・豚飼養農家の皆様に気をつけてほしいこと

- 農場に入る際には靴や持ち込む物の消毒徹底を。
- 関係者以外の人や車を農場に入れない。
- 農場に立入る車や家畜に直接接触する物は必ず消毒する。
- 発生国に滞在していた人、海外からの土産品、海岸への漂着物など、ウイルスを伝播させる可能性がある人や物は農場に近づけない。
- 口蹄疫が発生している国への渡航はできるだけ自粛する。
- 毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡しましょう。

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2013年1月以降の発生)



飼養衛生管理基準遵守状況の確認巡回を行います

農場における疾病予防の基本は、なんといっても適切な飼養衛生管理の徹底です。今年度も、農業共済組合が実施する畜舎消毒に併せ、各農場における飼養衛生管理基準の遵守状況の確認を行いますので、ご協力をお願いします。



- * 農場出入口の消毒設備（消石灰帯等）の設置
- * 畜舎出入口の踏み消毒槽等の設置
- * 畜舎への立入り状況、家畜の導入・出荷等の記録または伝票等の保管
- * 畜舎の衛生管理状況

主な確認事項

平成26年度 病性鑑定内訳

項目（件数）	診断名又は検査内容（件数）
牛	消化器系疾病（13） 迷走神経性消化不良を疑う（1）、胃内異物による通過障害（1）、食道梗塞（1）、クヅガム病（1）、第四胃食滞（2）、カストリガム感染症（1）、第四胃炎および慢性肝炎（1）、胃内異物および慢性腎炎を疑う（1）、第一胃食滞（1）、第四胃潰瘍（穿孔を伴う）（1）、第四胃食滞（1）、第四胃穿孔（1）
	呼吸器系疾病（8） 誤嚥性肺炎（1）、牛RSウイルス病（パストレラ・マルツガ、マツミア・ヘリティカおよびマイコプラズマ・ボビウ仁スの関与も疑う）（1）、牛RSウイルス、牛ライカウイルスおよびパストレラ・マルツガとの混合感染（1）、牛パストレラ症および慢性肝炎（1）、大腸菌性の肺炎および心内膜炎（1）、肺出血（1）、肺気腫を疑う（1）、線維索性肺炎および胆嚢捻転（1）
	傷病（1） 創傷性肺膿瘍を疑う（1）
	腫瘍性疾（20） 肺腫瘍（1）、牛白血病（成牛型）（1）、牛白血病を疑う（18）
	運動器病（3） 慢性蹄葉炎（1）、筋損傷による起立不能（1）、趾間腐爛（1）
	中毒・代謝病（10） 脂肪壊死症（2）、放線菌症を疑う（1）、腹膜炎（1）、横隔膜ヘルニア（1）、奇形赤血球症（2）、脾臓破裂（1）、敗血症（1）、臍帯炎（1）
	異常産関連（3） 先天性心奇形（1）、先天性奇形を疑う（2）
	その他検査（56） 血液生化学検査（38）、糞便中の寄生虫等検査（12）、細菌検査（6）
	事業関連（34） コーネ病抗体検査（15）、結核病検査（13）、牛流行熱等抗体検査（4）、ビタミン検査（2）
豚	呼吸器・消化器系疾病（1） 豚パストレラ症、豚レンサ球菌症および豚大腸菌症の合併症（1）
	事業関連（3） 豚コレラ抗体検査（1）、オーエスキー病抗体検査（1）、豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）抗体検査（1）
鶏	その他検査（1） 水質検査（1）
	事業関連（15） 鳥インフルエンザ検査（12）、サルモネラ検査（2）、ニューカッスル病抗体検査（1）
みつばち（1）	不明（1）
イルカ（14）	溺死（1）、ブドウ球菌感染症（1）、血液生化学検査（7）、細菌検査（5）

今年も暑い夏が到来しました！ 暑熱対策を始めましょう！！

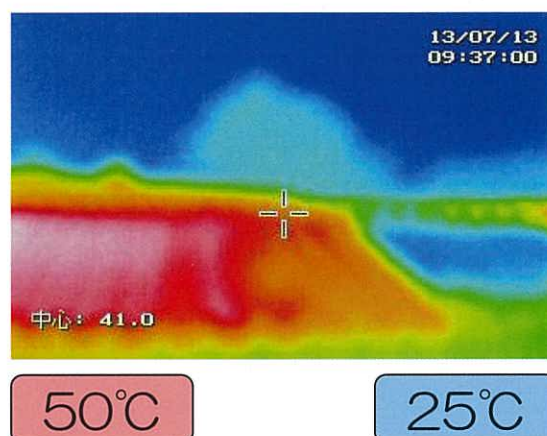
夏の暑さによる暑熱ストレスは、家畜の食欲低下や受胎率の低下を引き起こします。農場の生産性を低下させないためにも、家畜が健康で快適に過ごせる環境を作りましょう。

【畜舎環境面からの対策】

①畜舎外から畜舎温度を下げる。

- ・植物を利用したグリーンカーテンや遮光ネットの設置
- ・屋根や壁への断熱材の設置、ペンキや石灰による白色塗装

※当所で行った石灰塗布効果の検証試験でも十分な効果が期待できることがわかりました！



②畜舎内から畜舎温度を下げる。

- ・換気扇、扇風機での送風 ※風の通り道を作ることが大切です。
- ・家畜への直接送風（ダクトの設置）や散水

【飼養管理面からの対策】

①密飼いの改善による体感温度とストレスの低減

②毛刈りの実施 ※体感温度が2～3℃下がると言われています。

③新鮮で冷たい水が飲めるようにしましょう。

④涼しい時間帯に飼料給与しましょう。

※変敗（カビなど）した餌は与えないようにしましょう。

⑤運動場に日陰や飲水場がない農場が散見されます。

牛が直射日光から逃げられる場所と水を必ず確保しましょう。

**熱中症の症状が見られたら
必ず獣医師に連絡してください！**



勝忠勝号の現場後代検定がはじまります

吉岐産の気高系種雄牛、勝忠勝号（生産地：郷ノ浦町志原）の現場後代検定が、本年11月から来年8月まで実施されます。

これに先立ち、6月22日に検定材料牛8頭の評価購買が、吉岐家畜市場で実施されました。

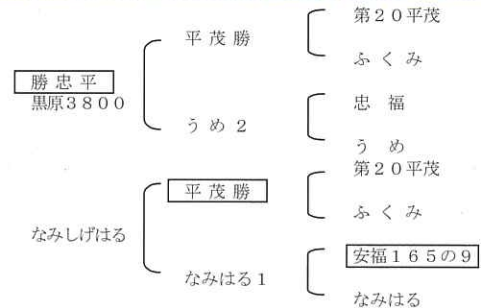
対象牛はすべて去勢牛で、体重は224kg～293kgとややばらつきがみられたものの、発育は標準を上回っており、平均日齢は224日、平均体重は250.5kgでした。なお、8頭中4頭は肉用牛改良センターで、残り4頭は島内の民間検定場で検定が実施されます。

勝忠勝

2011 子受卵長黒 1337868080 (平成23年11月11日生) 生産地 吉岐市



※血統



※プロフィール

本牛の父は、「勝忠平」であり、母「なみしげはる」は、県有供卵牛で脂肪交雑、枝肉重量ともに高い育種価を持ち、肉質・肉量に優れた高能力牛です。

本牛は、優れた均称を有し、特に中軀は充実しています。脂肪交雑及び枝肉重量の期待育種価が高いことから、質量両面での改良が期待される気高系種雄牛です。

項目	体高	体長	胸深	かん幅	(直検 D.G. 1.04)
測尺数値	136.0	163.4	72.0	51.0	測尺値は24.0ヶ月齢時のもの。



家畜衛生講習会（基本講習会）に行ってきました

【受講者：獣医師 中野孝宏】

5月18日から29日にかけて、茨城県つくば市にある動物衛生研究所において基本講習会を受講しました。10日間にわたる講習では、家畜衛生に関わる基本的な法律、知識、技術について教わりました。また、最先端の研究をしている講師の方々からご教示いただき、とても貴重な経験になりました。そこで得たものを生かせるよう日頃の業務に励みたいと思います。

講習会では全国の家畜保健衛生所から約50人が集まり、多くの方と親睦を深めることができました。特に、九州地方の家保職員との交流は非常に価値のあるものだと思います。また、離島の家保ということで興味を持つ方も多く、活発な意見交換を行い、吉岐の魅力も存分に伝えることができました。

平成27年度家畜保健衛生所事業推進会議を開催しました

去る7月8日（水）、当所の事業推進会議と県畜産協会壱岐支部の事業推進協議会を壱岐市立一支国博物館で開催しました。

まず始めに開催された畜産協会壱岐支部の事業推進会議協議会では、平成26年度の事業実績報告と今年度の事業計画について説明がありました。

続いて開催された当所の事業推進会議では、まず、家畜保健衛生所の運営に関する重点項目、家畜伝染病予防事業および家畜衛生対策事業について説明し、家畜衛生情勢として、昨年度の県内での家畜伝染病発生状況や管内の病性鑑定状況について説明を行いました。

また、畜産振興事業関係では、肉用牛改良関係事業の昨年度実績と今年度の計画について説明を行いました。

さらに、家畜伝染病発生時の防疫対応について、口蹄疫の異常畜通報から移動制限解除までを説明し、万が一の場合は、関係機関が一丸となった取り組みをお願いして終了しました。



つぶやき

平成27年度もあっという間に3ヶ月が過ぎました。6月梅雨の合間に、幸運にも2週続けて晴天に恵まれ、二つのイベントが開催され、島外から多くの参加者、応援者が来島。第27回壱岐サイクルフェスタ（619人参加）と第3回どろんこバレー大会（31チーム300人）。歴史に差があるものの、地域おこしの一環で始まり、多くのボランティアが企画、運営に参加していて、一体となった地域住民の活力を感じました。会場ではボランティアによるおにぎり、そうめん、豆腐、豚汁等が振舞われ、入賞副賞に壱岐牛、つや姫、壱岐焼酎などが渡され、満面の笑みがこぼれていました。これからも持ち場以外でも飛び出し、観戦交流を深めたい。

（ちゃり）

